

ブダペスト、プラハの旅

ブダペスト1か月の旅

RSK-OB 安田了三

平成20年2月19日から3月20日まで1か月ハンガリーの首都ブダペストとチェコの首都プラハに行ってきました。どちらの街も2週間づつの朝食付のホテル住まいでした。旧共産圏の国には初めて足を踏み入れましたが2都市ともとても素晴らしく美しい町でした。最近の旅行はあまり事前知識を持ちすぎるとがっかりすることが多いので勉強もいい加減にして出かけましたがこれが吉と出て大いに感激して帰ってきました。そんなわけで今回はほんのさわりのみお伝えします。



ブダペストのくさり橋と聖イシュトバーン大聖堂の夕景です。西日が建物に反射してドナウ河がキラキラ光っています。

一時間以上夕暮れの景色に見とれていました。川の水はあまりきれいとは言えません。市内の交通パス14日券を買ったので地下鉄、トラム、バスに乗り放題でほとんど隅から隅まで探検しつくしました。

治安もよく安心して外出できますが英語はあまり通じません。もっぱら[地球の歩き方]に頼りきりでした。往路はLH便でフランクフルト経由ブダペストまで、その後鉄道でプラハへ移動しました。柄にもなく国際特急の一等車コンパートメントを取り約500KMを7時間かけての列車の旅でした。



プラハのカレル橋とプラハ城です。カレル橋の東側の橋塔に登って撮影しました。モルダウ河には遊覧船が行き交い橋の上は観光客であふれかえっていました。日本人をはじめ各国からの観光客がこんなに押し掛ける街も最近では久しぶりに見る光景です。今世界で一番人気の高い都市かも知れません。

町は戦争でもあまり破壊されずよく整備されています。ここでも1カ月有効の交通パスを買い市内を歩き回りました。百塔の町といわれるとおりにどこに行ってもぐるっと見渡せばすべて写真の対象になるぐらいきれいな町です。

ガイドブックでは生水は飲まない方が良いと書いてありましたが一度沸かした水はドナウもモルダウもとても美味しい水でした。

水が硬いのか石鹸が溶けず老化のせいもあり皮膚が硬化してひりひりしてきます。私たちには1カ月が限度でした。



数ある世界遺産の中でも人気の高いチェコのチェスキー・クルムロフです。プラハからバスで3時間かかります。

冬はバスが1日2便しかないのもとても不便ですがまるでおとぎの国のようで美しい町です。ハンガリーではそんなに感じませんでした。チェコでは一般的にサービス業のフロントがとても不親切でした。

国鉄駅やバスターミナルの切符売場、インフォメーションセンター、スーパーのレジなどどこもお客さんという意識は持ち合わせていないようでした。

無表情、不愛想、笑顔なし。将来の観光立国が思いやられます。

一つ見習うべきは乗物でお年寄りが乗ってくると座っている人のうち誰かが必ず席を譲るという点です。これは徹底していて譲る方も譲られる方もごく自然に見ていて気持ちよいほどです。ただし譲られた方はめったに礼を言いません。不思議な光景です。

二つの町はどちらかと言うとプラハのほうがよく整っています。

2都市を巡るならブダペスト→プラハの順が良いと思います。

どちらの国もEU加盟国ですがどちらもユーロではなくハンガリーはフォリント、チェコはコルナという通貨を使っており少々不便な面もありました。 (完)



